

## 参加者募集

# 現場の声から支援をつくる

## 薬物使用とHIV予防・

## ハームリダクションに関するヒアリング

私たちは、「薬物を使用することがある人の健康と生活をどう支えるか」を研究しています。この研究において、最も重要なのは「実際に経験されてきた皆様の声」です。皆様の歩みを、私たちの重要な手がかりとして学びたいと考えています。ぜひお力をお貸しください。



参加費  
**無料**

定員20人

### —— 参加いただきたい方は以下のすべて3つを満たす方

- 薬物使用の経験がある方
- 過去にHIV感染リスクの高い行為をしたことがある方
- 自分の住む地域で、何か新しいアクションを始めてみたい方

### —— 私たちが約束する「安心の場」

- プライバシーの厳守：個人情報勝手に外に持ち出すことはありません。
- 非審判的な態度：どのような経験も否定せず、リスペクトを持って伺います。
- 声をカタチに：いただいた意見を反映し、国への支援策として提言します。

「実際に経験されてきたあなたの声」が必要です。

プログラム：3月1日(日)【第1部】9:00～17:00【第2部】18:00～20:00

09:00	グランドルール、ガイダンス、アイスブレイク、研究班の紹介
10:00	オンライン専門家セミナー(収録し後日公開)：仮題 薬物使用と医療者のスティグマ、守秘義務と通報義務など(松本俊彦、片山宗紀) ※皆様の顔が映ることはありませんし、声はテキスト化するなど、プライバシーを守ります。
12:00	ランチ休憩
13:00	ワールドカフェ：小グループに分かれての対話
15:30	ディスカッション：「地域で広がってほしいこと」
16:30	ヒアリング会クロージング
18:00～20:00	【追加プログラム】アディクションぽーと(自由参加)

(宿泊・旅費の助成について)

- > 宿泊助成(2泊3日)：18時からの「アディクションぽーと」にも参加される方
- > 宿泊助成(1泊2日)：ヒアリング会のみ参加される方
- > 旅費支給：東京周辺からお越しの方には、《一律5,000円》を支給します。

### 【開催詳細・お申し込み】※定員20人

- 日程：2026年3月1日(日)～
- 会場：新宿区内
- 連絡先：楊 宗財 yo@ptokyo.org  
生島 嗣 ikushima@ptokyo.org

